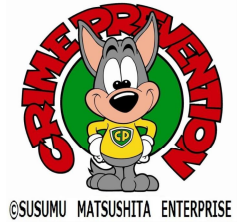


指たった1本動かす前に

広島県広島市立長束中学校 2年 柳瀬 結希



最近では、スマートフォンやタブレットなどのインターネットを使用している人が増加している。確かにインターネットはいろいろな機能があり、便利ではあるが、さまざまな『問題』が発生することがある。

インターネットの『問題』で思い浮かべたのが誹謗中傷の多さである。私も、インターネットで人を馬鹿にする発言や誹謗中傷が書かれているところを見たことがある。だがそれが実際に口にしてしているのを見るのは少ないと感じる。それは、インターネットで使うことができる『匿名』を利用しているからだとは私は考える。見えている相手に物事を言うのは少し難しいが、メールや電話では言うことが容易だと感じる。それは、直接相手の反応を感じとりにくいからなのではと思う。インターネットで誹謗中傷する人は、このことを利用し、そして誰かわからなくすることで何でも発言しやすくしているのではと考える。

一方で、インターネットで誹謗中傷を受けた人はどう思うだろう。勇気を出して挑戦したことや一生懸命に制作した物について悪口を言われたり、馬鹿にされたらどう感じるだろう。直接、悪口を言われても傷つくが、インターネットを通じて書かれてもそれは同じだ。だからこそ私たちは相手のことを思い、言動を考えてインターネットを使用しなければならない。

今後、誹謗中傷を少なくしていく上で大切なことは二つある。

一つ目は相手の気持ちを考える必要があることだ。相手がどんなことを想って取り組んだのか、悪口を言われたらどんな気持ちになるかを日々の生活のときも考えたら自然と悪口を書かなくなるのではないか。本当に書いていいことなのかを指を動かす前に一度立ち止まって考えてみてほしい。

二つ目は責任を持つ必要があることだ。コメントをする責任や動画や画像を投稿する責任などを持ち、インターネットを使わなければならない。私たちの発言一言一言が、行動の一つ一つが誰かを傷つけるかもしれないと責任を持つことが大切だ。

誹謗中傷や悪口を言う人の中には、日々のストレス、鬱憤を解消するためにやっている人や面白がってやっている人がいるが、それは絶対にやってはいけない。自分が得になったとしても傷ついている人がいるからだ。だから、日頃の生活から自分の言動を振り返り、行動することが大切だ。今後、いろいろな場面でインターネットの使用が増えてくるだろう。私は、インターネットを使用するという責任を持ち、自分や相手が傷つかないように、投稿、書いてもよい内容かを確認し、マナーを守って使っていきたい。そしてインターネットを

使う際に、責任と思いやりを持って行動できる人が一人でも増えてほしいと願う。指たった一本動かす前に、考えてみてほしい。